

三重県人口減少対策調査分析業務（R7年度委託）について

主な実施内容

(1) 三重県における移動の理由に関するアンケート結果の分析<継続>

- ・市町の住民移動窓口にご協力をいただき、令和5年3月から移動の理由に関するWebアンケートを実施。
- ・毎月回答結果を集計し、各市町へ共有。

(2) 三重県人口減少実態等調査分析

三重県における人口・移動に関するデータや資料の収集・分析を行うことで、人口減少の実態やその要因を明らかにし、今後の取組や次期「三重県人口減少対策方針」の策定に活用する。

- ①国勢調査マイクロデータ（令和2年）を用いた転入出者の属性分析<新>
- ②若者の定住促進及び流入・Uターン促進に向けた調査の実施及び分析<見直し>
- ③出入国及び外国人の移動に関する分析<新>
出入国（日本人・外国人）の移動や在留外国人の国内移動について、各種統計調査等を基に分析を行う。
- ④人口や移動に関する各種統計データ等の整理<新>
人口（推計を含む）や移動に関する各種統計データ等の収集及び整理を行う。

(3) 非正規雇用実態調査・分析<新>

三重県は、「都道府県版ジェンダー・ギャップ指数」（経済分野）において全国46位に位置しており、その指標に関連する女性の正規雇用比率は全国的に見ても低い状況にある。

こうした非正規雇用労働者の実態や要因、背景を把握し、自ら望んで非正規雇用を選んでいる方（本意非正規）や正規雇用を望んでいるが非正規雇用となっている方（不本意非正規）の実態等を分析するため、アンケート調査等を実施する。

(4) ジェンダーギャップ解消に向けた取組効果調査分析<新>

ジェンダーギャップ解消に取り組んだ際の県内企業等における経営効果の調査分析を行い、県内企業等のジェンダーギャップの解消に向けた取組の拡大や横展開をめざす。

三重県人口減少対策調査分析業務（R6年度委託）について

主な実施内容

(1) 社人研「日本の地域別将来推計人口」をもとにした将来展望

- ・令和6年の冬頃に、国が「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の更新を行う見込みであり、それに伴い令和7年度に各都道府県は人口ビジョンの更新が必要となることが予想される。

→その際に活用できるデータを取得することを目的に、2080年までの本県の人口の将来展望や2180年までの超長期の将来展望推計の作成、令和4年度に実施した調査分析にかかるデータの最新化を行う。

(2) 転出者女性の転出理由等に関するアンケート調査及びヒアリング調査

- ・令和4年度に、大都市圏在住の本県出身者（男性・女性共に）に対して転出理由や今後のUターン意向等についてアンケートを実施。
- ・令和5年度には三重県人口減少対策方針を策定し、「ジェンダーギャップの解消」をキーワードとして掲げた。

→こうしたことを受け、女性特有の転出理由の傾向等を把握することを目的として、大都市圏への転出女性にターゲットを絞ってアンケート・ヒアリング調査を実施。

(3) 学生への就職に関する調査（アンケート）結果の分析

- ・学生の就職に関する意識の把握のため、令和3年度より卒業年次の大学生等に対して意識調査を県が直営で実施。

→この期間中に就職に関する意識のコロナ禍特有の傾向と、コロナ明け後の傾向の違いなどが見られると考えられることから、今後の効果的な施策の立案につなげていくため、3年分のデータが蓄積されたデータの分析を実施。

(4) 三重県における移動の理由に関するアンケート結果の分析

- ・市町の住民移動窓口にご協力をいただき、令和5年3月から移動の理由に関するWebアンケートを実施。
- ・近年、本県の転出超過数は4,000人前後で推移していたが、令和5年は6,000人に迫り、その半数以上を男性が占めるなど例年にない傾向がみられた。

→この背景について、要因として考えられる傾向をつかむため、Webアンケートに関する分析を実施。

※調査結果は以下のリンク先（三重県HP）よりダウンロードできます。

☞ <https://www.pref.mie.lg.jp/common/content/001193669.pdf>